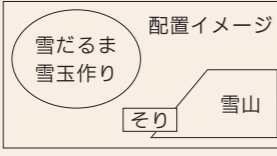


保育士さんのやることノート

(園では「デイリー」「指導案」などといいます)

時間	予想される活動	環境設定と援助
7:00	登園・自由遊び	●元気にあいさつし、笑顔で迎える ●保護者に体調を聞いたり視診したりし、子どもの様子を把握する
8:30	片付け・リズム運動	●次の活動を知らせながら片付けを促し、一緒に片付ける。片付けをしない子には声を掛ける ●ピアノ伴奏をしながら、衝突やけがをしないように見守る
9:15	朝の会	●お便り帳をチェックし、保護者からの連絡を確かめる
9:30	中心活動「雪遊び」 ●先生の話や友達の言葉を聞き、今日の雪遊びの内容を理解したりイメージを膨らませたりし、楽しみにする ●スキーウェアを着たり用具を準備したりする ●自分のやりたい遊び、目当てを見つけ、遊びを楽しもうとする	●朝の時点で、そりやスコップなどを準備しておく ●バケツや肥料袋を子どもと一緒に用意する ●子どもの遊びの様子や展開に合わせて立ち位置に気を配る ●安全に気を付ける



遊びを通して学びを広げられるように、ねらいや関わり方をしっかり考え、声掛けや道具の準備をしています。



宮野目小学校の先生が宮野目保育園で道徳の出前授業を行いました

子どもたちを支える園と小学校の連携

見られたり、発見があったりします。いわゆる「創意工夫」「科学的見方」が培われ、小学校以降の学習やその後の生活にも生かされます。

園でねらいをもって大事に育てられた子どもたちが、小学校に早く慣れ、子ども自身の力を発揮できるように、園や小学校の先生たち

もうすぐ1年生!

家庭、保育園・幼稚園で培った力に自信を持とう



「鬼は外、福は内」。子どもたちが豆まきをしました。園では、季節の行事も大切にしています。(湯口大谷幼稚園、節分)

年長児のお子さんとその保護者の皆さんは、新しいランドセルや新入生用品を目の前に、小学校入学を心待ちにしているのではないのでしょうか。

本市では、小学校に入学した子どもたちが伸び伸びと学ぶことができるよう、保育園・幼稚園(以下「園」といいます)と小学校が接続期の連携を進めています。この連携に家庭の力が加わることで、子どもたちはさらにその可能性を無限に広げていきます。

保護者の皆さん、家庭や園で身に付けたお子さんの力を信じ、自信を持って小学校へ進学させてください。

小学校では元気な1年生を待っています。

保育園・幼稚園の役割

保育園は福祉施設、幼稚園は学校というような違いがあるものの、保育園における教育に関わるねらいと幼稚園におけるねらいはほぼ同じです。

子どもたちが小学校入学時に同じスタートラインに立てるように、また、子どもの生きる力の基礎を培うために、園では毎日の保育を大事にしています。

例えば、「ルールのある集団ゲー

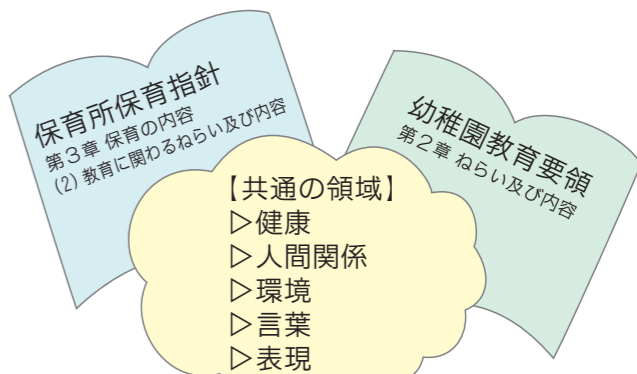
家庭と園の協力で促す子どもたちの成長

園では決して小学校でやることを先取りして教育する場ではありません。発達に合った保育をしつかりと行っていく場です。幼児期の遊びを通して学びや人との関わりは、人格形成やその後の生活に大きく影響を与えていきます。

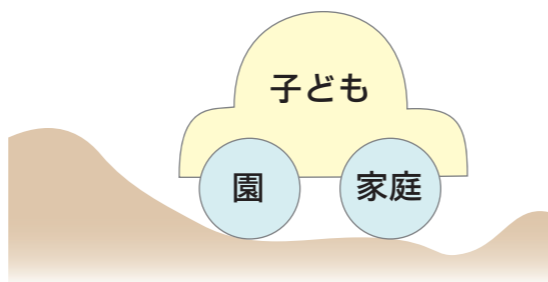
家庭と園が両輪となって子どもの成長を促すことで、子どもたちは伸び伸びと育つことができ、家庭で試し、家庭で身に付けたこと

園は決して小学校でやることを先取りして教育する場ではありません。発達に合った保育をしつかりと行っていく場です。幼児期の遊びを通して学びや人との関わりは、人格形成やその後の生活に大きく影響を与えていきます。

家庭と園が両輪となって子どもの成長を促すことで、子どもたちは伸び伸びと育つことができ、家庭で試し、家庭で身に付けたこと



園では、この5領域の観点で子どもの学びを伸ばしていきます。



家庭と園の両輪がしっかりしていると、子どもはさまざまな困難を乗り越えることができます。

園の生活に生かしています。家庭での子どもとの会話は大事です。園での出来事をたくさん聞いて、その中で、子どもの園での様子や子どもの思いを聞くことは家庭の役割の一つです。

また、歯磨き、早寝早起き、余暇の過ごし方(ゲームやテレビ)ばかりではなく、箸の持ち方、あいさつの仕方などは家庭が主となって身に付けさせていくことです。

入学は、子どもにとっても親にとっても大きな環境の変化となりますが、家庭と園に温かく育てられた子どもは多少の困難を乗り越える力を備え、学校での生活を楽しくにしています。